

withコロナ時代に生きる商工会議所のネット試験

- ✓ ネット試験を活用してスマートにスキルアップ!
- ✓ 商工会議所のネット試験施行機関(認定校)に聞く!(中村学園大学)

■ ネット試験を活用してスマートにスキルアップ!

昨今、新型コロナウイルスの影響を受けて生活や社会環境が急激に変化しています。企業活動においても、新しい生活様式に対応した新しい営業形態を模索する中で様々なIT・ICTツールが注目されており、それらを活用した組織やビジネスの変革に対応することが求められています。

日本商工会議所および福岡商工会議所では、企業実務においてIT・IoTを活用する実践的な知識、スキルの習得に資するとともに、ネット社会に対応した新たなビジネススキルの育成を図ることを目的として、「日商PC検定試験」や「日商プログラミング検定」を実施しています。



● 商工会議所のネット試験とは

インターネットを介して試験の施行から採点、合否判定までを行う形式の検定試験です。以下の3つの特徴を備えています。

① 随時受験が可能

ご自身のスケジュールに合わせて受験できます。

② 合否結果がその場で判明

次の学習に向けたスタートをすぐに切ることができます。

※一部検定試験については統一試験日で実施致しますので、合否結果が試験日の約1か月後となる場合があります。

③ 最寄りの会場で受験が可能

全国各地の「商工会議所ネット試験施行機関」で受験できます。

認定校制度を採用しており、要件を満たせば自社や自校が試験会場になります。

ネット試験の一部を紹介!!

1. ネット社会に必要な「仕事力」が身につく! 「日商PC検定」

ネット社会に対応した新たなビジネススキルの育成を図ることを目的として実施されている試験。ビジネス文書に関する「日商PC検定試験(文書作成)」、業務データの活用と取り扱いを問う「日商PC検定試験(データ活用)」, 目的に応じた適切でわかりやすいプレゼン資料の作成ができるかを問う「日商PC検定試験(プレゼン資料作成)」の3分野に分かれ、それぞれ独立して施行されています。

【日商PC検定がオススメできる5つのポイント!】

- 公的資格の信頼と実績!
- 就職力がアップ!
- 実務能力を証明できる!
- プロフェッショナルとしての能力を証明!
- 学習に合わせて連続して資格取得が可能!



2. 情報技術の基盤となる知識やスキルを磨く! 「日商プログラミング検定」

IT人材の育成に資するため、プログラミングに関する基本知識・スキルを体系的に習得する機会や学習支援の仕組みを提供するとともに、習得レベルを測定・認定するため2019年から実施されている新たな検定試験・認定制度。IT技術者(志望者)のみならず、学生・社会人、年齢、職業等を問わず、幅広く多くの方を対象としています。受験級は「EXPERT」「STANDARD」「BASIC」「ENTRY」に分かれ、級によって出題言語が異なります。2020年度からAI(人工知能)の開発に多用されている言語「Python」を試験に導入しました。



【日商プログラミング検定の特徴!】

- 社会人必須の論理的思考力、問題解決力の向上に役立つ!
- 企業のシステム開発・改良をはじめ、生産性向上を具現化するIT活用能力を高めることができる!
- 「STANDARD」「EXPERT」からは実技科目が加わり、基本的なプログラミングスキルが身につく!

他にも、様々なネット試験を実施しています。詳しくは



● ネット試験施行機関について

商工会議所のネット試験は、各地商工会議所およびPCスクールや教育機関、職業訓練校等で受験できます。この試験会場は一定の要件を満たすことでネット試験の施行機関になれる認定校制度を取り入れており、自社や自校が認定校になることで、社員や学生がそれぞれの環境で随時受験することができます。当日の実施に際してもインターネットを通じた試験問題の配布・回収、自動採点が行われるため実施における事務負担が少なく、福岡市内でも企業や教育機関が認定校となって検定試験を実施しています。

商工会議所ネット試験施行機関募集について



ネット社会に対応した新たなデジタル人材の育成を図ることを目的として、日本全国で実施されている商工会議所ネット試験。また、最近ではIT・IoT時代の社会人必須スキルの習得を促進・支援するため、新たに日商プログラミング検定が創設されるなど、さらに注目が高まっています。今回は、教育機関として学校教育に商工会議所ネット試験を導入している中村学園大学流通科学部流通科学科姉川教授にお話を伺いました。

学校教育にネット試験を取り入れた経緯

以前は、同業他社のアプリケーションを使い、実技に特化した試験を実施していました。ですが、日商PC検定はコンピュータの基礎知識とアプリケーションの実技の両方が試験内容となっているということで、2010年度より日商PC 3級(文書作成・データ活用)を導入しています。また、2019年度より試験的ではありますが、日商プログラミング検定をおこなっています。

商工会議所のネット試験をどのように活用しているか

本学の1年前期の必修科目において、単位取得条件の一つとして、日商PC 3級(文書作成・データ活用)の資格取得を義務化しています。これにより、学生全員が実社会で即戦力となるITスキルを習得します。また、1年後期の必須科目では、必要に応じて日商プログラミング検定(ENTRY・BASIC)を実施しています。

ネット試験の環境設備や、利用者の層について

多くの受験生が、公平な同じ環境で受験する為に、最大90人が受験可能なコンピュータ教室で試験を実施しています。その際、デスクトップ型パソコン(フルキーボード・マウス・有線LAN利用)を用いて試験をおこなっています。大学内で試験を実施している為、受験者は18~22歳の若者がほとんどです。



新たに「日商プログラミング検定試験」を導入

2019年度より、日商プログラミング検定(ENTRY・BASIC)を導入しています。初年度という事もあり、まだ試験的な導入です。

まだ試験対策の参考書等の資料が少なく、試験勉強が難

しかった等の意見もありました。今後、授業内容の改善に合わせて、より広く導入していきたいと考えています。

ネット試験がどのように役立っているか

試験を受験する1年生の時は、正直あまり評判は良くありません。しかし、4年生になると、“履歴書に書ける資格があって良かった”とか、“卒業論文でWordやExcelを使えて良かった”等の肯定的な意見が多くなります。また、流通科学部におけるITリテラシー教育として、多くの先生方にご理解いただいていると思います。



ネット試験の今後の活用について

近年、スマートフォンの普及により、若者のコンピュータに対する関心・興味が低くなっています。その弊害として、特にタイピング能力の低下が、近年明らかになってきています。容易かつ安価な方法で、タイピング能力の向上に役立つ試験の活用を検討しています。

ネット試験合格者に抱く期待

現代の“読み書きそろばん”は、IT技術を上手に効率良く使える知識・技術だと思います。これからもIT技術は進歩していきますので、常に新しい知識・技術を習得する等の向上心を忘れないで、これからの実社会でのご活躍を期待しています。

《中村学園大学流通科学部流通科学科について》

経営分野及び商学分野を中核として、4つの専門領域(社会調査・統計、観光・サービス、IT&ビジネス、ビジネス心理)と2つの人材育成プログラム(ビジネスリーダー、グローバル人材)を加えた、幅広い専門的な内容が学べる学部。日商PC検定と日商プログラミング検定を導入している。

皆様の人材育成やスキル習得にご活用ください。

日本商工会議所・福岡商工会議所 ネット試験 一覧

- 日商PC検定試験
- 日商ビジネス英語検定試験
- 日商簿記初級
- ビジネスキーボード認定試験
- 日商原価計算初級
- キータッチ2000テスト
- 電子会計実務検定試験
- 日商プログラミング検定試験

詳しくは



ネット試験施行機関を募集しています!

是非、貴校様・貴社様に認定校として加わっていただき、人材育成・就活支援等にお役立てください!

【要件について】

1. 原則として会場所在地の商工会議所の会員であること。
2. 試験会場のスペック(通信環境、受験機器等)が所定の要件を満たしていること。
3. 上記2つの要件を満たしたうえで、地元の商工会議所が試験施行機関として適していると認めた会場であること。
4. 試験委員が、試験会場の設備、通信環境、受験機器等に関する知識をはじめ、当該試験の実施に係る十分な知識を有していること

